

令和2年度 地域が育む「かごしまの教育」県民週間

総務福利課

約15万人の県民が参加

県教育委員会では、毎年11月1日から7日を「地域が育む『かごしまの教育』県民週間」と定めており、期間中は、各学校や教育委員会によって多彩な行事が行われています。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの学校等において行事の縮小や参加者の制限といった対応を余儀なくされましたが、保護者や地域の皆様の御理解・御協力の下、各校で様々な取組がなされ、約15万人の県民の方々に御参加いただきました。



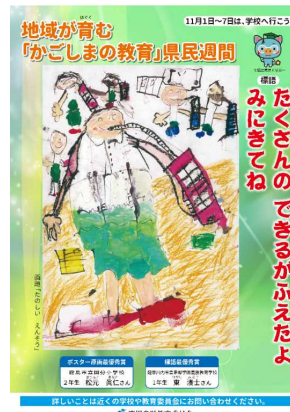
【鹿児島県立錦江高等学校 1年理科出前授業の様子】

参加者の声

- 今年度は授業参観の機会がなかったので、この機会に子供たちの様子を見ることができて嬉しかった。
- 新型コロナウイルス感染症の影響がある中、たくさん工夫され、文化祭を開催していただいたことに感謝したい。学年ごとに工夫を凝らして頑張っており、感動した。
- 子供たちがのびのび明るい態度であった。いい環境で学び、生活していて大変嬉しく思った。
- 学校へ行き、子供たち、先生方との時間を共有するだけで、元気をもらい心が明るくなる。
- 効果的にICTを活用した授業がなされており、生徒も楽しそうに授業を受けていた。
- 郷土教育が充実していて素晴らしい。今後も郷土教育を推進して行ってほしい。

県民週間表彰（ポスター原画・標語）

今年度は、霧島市立国分小学校2年 松元 眞仁（まつもと まなど）さんのポスター原画「**たのしい えんそう**」と、薩摩川内市立東郷学園義務教育学校1年 東 湊士（ひがし みなと）さんの標語「**たくさん の できるがふえたよ みにきてね**」が最優秀賞に選ばれました。



学校賞は、ポスター原画の部で十島村立諏訪之瀬島小学校及び薩摩川内市立亀山小学校が、標語の部で指宿市立指宿小学校及び曾於市立柳迫小学校がそれぞれ受賞しました

上記の6校には、教育委員が直接訪問し、表彰伝達を行いました。



【表彰後の記念撮影：霧島市立国分小学校】



【表彰後の記念撮影：薩摩川内市立東郷学園義務教育学校】



県教育委員会のホームページもご覧ください。

ホーム>教育・文化・交流>学校教育>教育活動>地域が育む「かごしまの教育」県民週間